

読者のページ

笑顔のイベント「メリー・イン・  
ニューヨーク」を開いている

みずた 孝次さん

見ているこちらもおおが緩むよ  
うな笑顔が約四百。9・11テロか  
ら一年たったニューヨークで「あ  
なたにとってメリー(MERRY)  
とは何ですか?」と問い掛けなが  
ら写真を撮った。メッセージとと  
もに展示する「メリー・イン・ニ  
ューヨーク」を東京六本木の「T  
HINK ZONE」で開いてい  
る。

「不幸が大きい分だけ、笑顔が  
美しい。ともに負の遺産を持つ、  
神戸でやったときにもそう感じま  
した。撮っている僕にも、見る側  
にも、勇気や希望をくれる」

「メリークリスマス」のメリー。  
楽しさ、幸せ、希望といったポジ  
ティブな感情をその言葉に託した



「メリープロジェクト」は、一九  
九九年に始まった。笑顔とメッセ  
ージをさまざまな方法で見せる。  
今回は五万部の「新聞」にしてニ  
ューヨーク、ロンドンでも同時に  
配った。



本業はアートディレクター。広  
告業界に札幌が乱れ飛んだバブル  
時代を経験した。忙しく働き、数  
々の賞を受けながらも、むなしさ  
が募った。

「すべては商品を売るためのウ  
ソ。こんなことはおかしいとずっ  
と思ってました」

その後、米国を旅するバスの中  
で、無邪気な少女たちにカメラを  
向けたのがプロジェクトのきっかけ  
になった。「笑顔は世界共通の  
コミュニケーション手段。これこ  
そ最もシンプルで力強い、二十一  
世紀のアートじゃないかと思っ  
ます」

不況だからこそ「やるべきこと  
がはっきり見える」と笑う。五十  
一歳。名古屋生まれ。

笑顔は世界共通のコミュニケーション手段。